

一般的な装着箇所としては、エンジンヘッド上部（カバー上部でも可）、エンジンオイルパン、ミッションオイルパン、CVT、デフギア等です。

装着に関しては被装着物表面を脱脂し、両面テープで装着できます。

（Engine チップは空間伝達エネルギーなので、樹脂カバーの上からでも効果はあります。）

*装着位置によって効果が違ってきますので、好みにチューニングしてみてください。

（効果は車種にもよりますが1、2日で効果が落ち着きます。）



*剛性調整用チップとしても十分な能力がありますので、フレームやメンバー等への装着もできます。

*温度が高い、振動が多い、貼り付け面が凹凸がある部位に装着する時は、アルミシール等でカバーをして脱落防止対策をして下さい。